資料⑯

指導案例（幼稚園）

→ Ⅵ－６　指導計画の作成と幼児理解に基づいた評価

令和○年○月○日（○）　　指導案　　５歳児　白組　　担任名○○　○○

予想される幼児の活動　　☆環境の構成　　▲教師の援助

砂場

山を作り、トンネルをほり、水を流してみたいなあ。

どろんこ遊び
☆ダイナミックに遊び込めるように、スコップ、たらい、バケツ、ペットボトル、塩化ビニールの筒、大小の木ぎれを用意しておく。
▲思いを表現する方法に幼児が気付けるように、声をかけたり、一緒に考えたりする。

正門

ミルクチョコが作りたいなあ。ナッツ入りがつくりたい！

チョコレート工場遊び
☆チョコレートを作りやすいように水を運ぶバケツ、一輪車等を用意する。
☆トッピングの材料として木の実、木の葉、乾いた砂を用意しコーナーを作り置いておく。
▲チョコレートの種類を思い出しイメージがわくように、声をかける。

ジャングルジム

太鼓橋

リレー遊び
☆自分たちでリレーに必要なものを準備する。
☆ルールやチーム分けについて常に話し合えるようにする。
▲ルールを考えたり、チーム分けをしたりする中で、みんなが楽しく遊べるためには、公平なルールが必要なことに気付くようにする。

ぼくのチームはいつも負けてばかりいる～。くやしいなあ。

この指導案は、日案の一部を取り出し、戸外の活動において幼児が興味のある活動を展開する場面の指導計画の例である。
それぞれの場所における幼児の活動を予想し、環境の構成を工夫している。さらに、その際、何をねらいとして、どのように教師が幼児に関わるのかも具体的に計画することが大切である。
記録や反省・評価の欄が少ないが、別紙に記入するなど工夫するとよい。
また、一人一人の幼児の活動をそれぞれ予想し、一人一人についてのねらいや教師の関わり、環境の構成を記入した指導の計画も重要である。
個々の幼児と集団の関わりを意識した指導計画を工夫することが望まれる。

育室

育室

ブランコ

テーブル

バッタさがし
☆虫かごや網を４組ずつ用意する。（学級の数）
☆テーブルにクロスをかけ、バッタのページを開け、昆虫の図鑑を置いておく。
▲幼児の簡単な疑問は、幼児が自分で気付き、解決できるように、一緒に図鑑を見ながら話をする。

はたけ

記録・反省・評価

○　どろんこ遊び

・　Ａのグループの中へ入れて欲しそうなＢ。Ｂの思いを教師が代弁しすぎてしまった。明日は、Ｂ自身が言葉で伝える方法を援助したい。

・　Ａは木ぎれを船に見立てて遊び始めた。船が抵抗なく水路を進むようにしたい様子であった。そのためには、どうすればよいのか試行錯誤する幼児を支援したい。一度にたくさんの水が運べるように一輪車とバケツを準備し、砂場の道具入れの前に出しておきたい。

○　リレー遊び

・　Ｃが自分の思い通りにリレーを進めていた。Ｄ・Ｅがチーム分けの不公平さに気付き始めているが、Ｃに伝えるまでには至らなかった。明日は、遊びの様子を見守りながら、Ｄ・Ｅの思いを引き出したい。

・・・（後略）・・・